大館市政だより
第三十号
毎月1回発行
発行所秋田県大館市
大館市役所
編集兼発行人
飯坂勇蔵

# 人口五万の新大館

## 春と共に華々しく発足

一市四町十村の大同団結を目指してきた大館市の第一次合併は、三月三十一日をもって市に綱入された十二所町を最後に一応終りを告げました。一町五村との合併が無理なく進められたことはまことによろこばしい限りであり、今後の発展には大きな期待が寄せられています。

合併後の税金はどうなるのか——このことから先づお知らせしましょう。

町村合併促進法第十四条の特例により、合併年度（昭和二十九年度を指す）の不均衡の程度を限度として不均一課税とし、その期間を三ヶ年とする

これは大館市と合併町村との間にかわされた「協定事項」のなかにあります。つまり合併後三ヶ年間は、今まで通りの税率で税金を賦課しようではないか。税率を変更する場合には、合併時の税率の均衡を保たなければならないのだ——という意味です。ですから、合併したので税金がたかくなるということはありません

税金の問題をこのようにきめた「協定事項」には、その他どのようなとりきめをしているのでしょうか。

### 協定事項

（合併条件）

一、合併期日

昭和30年3月1日（十二所町は3月31日）

二、行政機構

編入各町村には、それぞれ支所をおき、必要に応じて出張所を設ける

[illegible]員の取扱

[illegible]員は全員新市職員[illegible]任用替えをする

2 特別職については別途これを考慮する

四、恩給

1 編入各町村職員は加入している町村恩給組合を脱退して市特別会計恩給基金に加入する

2 退職年金、一時金に関する一切の権利義務は市特別会計恩給基金に継承する

五、退職金

町村合併促進法第二十四条の三の趣旨により適宜処理する

（合併促進法では、職員が合併後一年以内に退職を申し出た時、退職手当の支給については特に優遇するよう定めている）

六、関係市町村議員の取扱

市政審議会を設置して合併実施当時の関係市町村議員のうちよりその委員を任命する。委員の任期[illegible]ヶ年とする

七、市税

町村合併促進法第十四条の特例により合併年度の不均衡の程度を限度として不均一課税とし、その期間を三ヶ年とする

八、選挙区

合併市町村の区域をそれぞれの区域とする選挙区を設ける

九、特別会計

各種特別会計は現行のまま継承する

十国民健康保険

全地域に国民健康保険を実施する

十一、各種委員会委員

1 編入各町村の教育委員会は町村合併促進法第九条の二の特例による（合併町村の数た[illegible]委員会の選挙によ[illegible]として在任できること）

2 農業委員会については、農業委員会法第五十条の特例により編入各町村の農業委員会はそのまま存置する

十二、財産

1 行政財産は無条件で継承する

2 普通財産（基本財産、特別基本財産、積立財産、雑種財産）は市に帰属するものとする

部落有統一財産については新市において管理処分及分収に関する条例を制定し収益分収率は九対一とする。

但し必要に応じて財産区を設ける。

十二所町の場合は次の通り

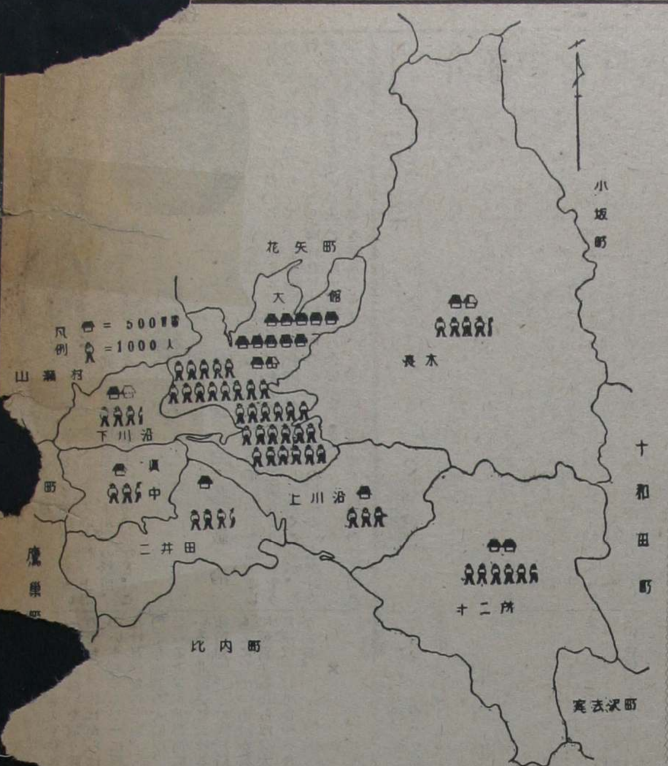
2 国有[illegible]得した[illegible]及び部落有統一財産については、新市において管理処分及分収に関する条例を制定し収益分収率は九対一とする。

3 元十二所町と部落においての旧慣による収益分収率はそのまま継承し、その率による分収は部落に交付する。

元十二所町にかかる分収の交付金は、元十二所町公益事業費基金蓄積に関する特別会計設置条例（仮称）を制定し、元十二所町地域の公益事業費にこれを充当する

× ×

以上が協定事項の内容です



## 合併後の新しい呼び名

町村合併に伴って、旧町村部（十二所、長木、下川沿、二井田、上川沿、真中）の本籍や住所の名称は、自動的に改称されました。これによって新しい名称は従来の「郡名」と「町村名」を削除し「大館市」に改められたわけで、二、三の例を掲げると次のようになります。

（従前）北秋田郡十二所町十二所字町頭三十六番地

（新規）大館市十二所字町頭三十六番地

（従前）北秋田郡上川沿村根下戸字下袋百六十四番地の一

（新規）大館市根下戸字下袋百六十四番地の一

それぞれ大字以下地番までは、従前と何等異なるところはありませんが、郡名と町村名は除かれて、大館市と書き改められています。これか[illegible]、総ての届出や通信[illegible]称で やつ[illegible]

[illegible]内、東、雪沢。

○上川沿地区＝中山、山館、餌釣、池内、小館花、根下戸。

○下川沿地区＝片山、餅田、立花、山田、赤石沢、川口、鳴滝、横岩、大道下、本宮、

○二井田地区＝、下川原、比内前田、杉沢、大子内

○真中地区＝櫃崎、赤石、板沢、小袴、大披、出川

○十二所地区＝十二所、葛原、猿間、曲田、軽井沢、道目木。

## 線路附近の火災防止

空気が乾燥し、火災の起り易すい季節になりました。そこで国鉄大館駅では、鉄道沿線火災の防止のため、乗車される方々へ、窓からの煙草の吸殻や、燃えさしの燐寸を捨てないよう、特に注意と、御協力を望んでいます。

## 春の豫防接種

### 洩れなく受けて健康に

四、五月における春の予防接種は、下の日程で行われますから、該当される方は必ず接種を受けて下さい。

該当者には個人宛か、又は回覧でお知らせすることになっていますが、若し通知洩れや、事故のため接種を受けられない方は、その旨を保健課衛生係まで御連絡下さい。

◆腸チフス、パラチフス

[illegible]回免疫①、昭和二十六[illegible]月一日から同年十二[illegible]での出生者、㋺[illegible]月一日現在[illegible]ら六十才ま[illegible]疫を完了

○追加免疫㋺に掲げた出生範囲で初回免疫を完了された方。

◆ジフテリア

○第一期①昭和二十九年三月一日から同年八月末日までの出生者、㋺昭和二十八年九月一日から昭和二十九年二月末日までの出生者で、昨年秋季施行の際接種未了になっているお子さん。

○第二期、昭和三十年四月小学校に入学するお子さんで昨年秋季の未了者

○第三期、昭和三十年三月小学校を卒業する児童で昨年秋季の未了者

◆百日せき

[illegible]十九年六[illegible]十一月末[illegible]での出生[illegible]、㋺昭和二十八年十二月一日から昭和二十九年五月末日までの出生者で、昨年秋季の未了者。

○第二期㋑昭和二十八年六月一日から同年十一月末日までの出生者で第一期を完了したお子さん、㋺昭和二十七年十二月一日から、昭和二十八年五月末日までの出生者で、第一期は完了したが第二期が未了となっているお子さん。

◎実施時刻▼午前九時三十分から同十時三十分まで茂内診療所▼午後一時三十分から二時三十分まで長木小学校▼午後一時から二時まで上川沿小学校、片山小学校、二井田支所▼午後二時から三時まで古館小学校、川口小学校、旧真中診療所▼その他の地域は総て午後二時から四時までとなって居ります。

尚疑問な点がありましたら市役所保健課衛生係へお尋ね下さい。

## 運営委員決る

### 中央公民館

大館市中央公民館の運営審議会委員が去る二十七日の教育委員会で承認されました。任期は二年で、委員は次の通りです。

畠山忠（市内校長会推薦 桂城校長）
泉山寿次郎（PTA推薦 連合会長）
佐藤文彦（文化団体）
喜田説治（文化団体）
岡本フッ（婦人団体）
石田よし（婦人団体）
石垣信雄（商工業団体）
田中昌（農業団体）
佐藤民二郎（保健関係）
富樫茂（労働組合関係）
山城三郎（体育団体）
田畑文治（社会福祉関係）
小坂直治（市当局）
市議会関係のみ未定

## 春の火災に御用心

### 予防接種日程表

| 施行月日 | 曜 | 種別 | 施行場所 |
|---|---|---|---|
| 四月一一日 | 月 | ジフテリア① | 石田病院、小田医院 |
| 〃一二日 | 火 | | 石塚医院、上川沿小学校<br>古館小学校、茂内診療所<br>長木小学校 |
| 〃一三日 | 水 | | 公立病院、片山小学校<br>川口小学校 |
| 〃一四日 | 木 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 四月十九日 | 火 | 腸，パラチフス② | 石田病院、茂内診療所<br>長木小学校 |
| 〃二〇日 | 水 | | 公立病院、上川沿小学校<br>古館小学校 |
| 〃二一日 | 木 | | 石塚医院、小田医院<br>片山小学校、川口小学校 |
| 〃二二日 | 金 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 四月二五日 | 月 | 百日せき① | 石田病院 |
| 〃二六日 | 火 | | 石塚医院、上川沿小学校<br>古館小学校、茂内診療所<br>長木小学校 |
| 〃二七日 | 水 | | 公立病院、小田医院<br>片山小学校、川口小学校 |
| 〃二八日 | 木 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 五月二日 | 月 | 腸，パラチフス③ | 石田病院、小田医院 |
| 〃三日 | 火 | | 茂内診療所、長木小学校 |
| 〃四日 | 水 | | 公立病院、上川沿小学校<br>古館小学校 |
| 〃六日 | 金 | | 石塚医院、片山小学校<br>川口小学校 |
| 〃七日 | 土 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 五月一〇日 | 火 | ジフテリア② | 石田病院、小田医院<br>茂内診療所、長木小学校 |
| 〃一一日 | 水 | | 公立病院、上川沿小学校<br>古館小学校 |
| 〃一二日 | 木 | | 石塚医院、片山小学校<br>川口小学校 |
| 〃一三日 | 金 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 五月二四日 | 火 | 百日せき② | 石田病院、茂内診療所<br>長木小学校 |
| 〃二五日 | 水 | | 石塚医院、小田医院<br>上川沿小学校、古館小学校 |
| 〃二六日 | 木 | | 公立病院、片山小学校<br>川口小学校 |
| 〃二七日 | 金 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 六月六日 | 月 | ジフテリア③ | 石田病院 |
| 〃七日 | 火 | | 石塚医院、小田医院<br>上川沿小学校、古館小学校<br>茂内診療所、長木小学校 |
| 〃八日 | 水 | | 公立病院、片山小学校<br>川口小学校 |
| 〃九日 | 木 | | 常盤医院、二井田支所<br>旧真中診療所 |
| 六月二〇日 | 月 | 百日せき③ | 石田病院 |
| 〃二一日 | 火 | | 公立病院、上川沿小学<br>古館小学校、茂内診<br>長木小学校 |
| 〃二二日 | 水 | | 石塚医院、小田医<br>片山小学校、川口 |
| 〃二三日 | 木 | | 常盤医院、二井田<br>、旧真中診療所 |

# 「開拓精神を持とう」

市長　佐藤敬治

今までの地方自治体[illegible]りにも、農村は農村[illegible]は都市という具合にま[illegible]まりすぎていた。それに[illegible]つて両者の対立が激しくなり、その結果、経済的に力の弱い農村が弱体化して行く傾向を大きく示したのである。農村と都市との生活の相違、農村文化の後進[illegible]れらのすべては自[illegible]体の構成が進歩性をもたなかつたことに原因があつたといえよう。

〇…最近の都市を中心とする、交通、通信の発達が生活経済圏をひろげながらも自治体がそれに呼応しなかつたこと、この矛盾を解決するために「町村合併」が叫ばれ、大館を中心にしてこゝに一町五村の合併が実を結んだことは、まことに[illegible]限りである。[illegible]のことを考えてみると、新大館市の様相はまことに多元的であるといえよう。長木の木材、上川沿の果樹、下川沿の杉苗、二井田、真中の米など。これらの基礎産業を基盤として、商工業をよりいつそう盛んにして行くことが、これからの市政の一大指針である。

〇…せまい垣、のけて明る[illegible]」こ[illegible]標語でた[illegible]村の合併に[illegible]い垣」を取り除いたのである。これからは「明るいまちづくり」に努力しなければならない。

〇…合併後の大館は、地図をみると形が北海道に似ている。北海道における「開拓精神」。この開拓精神をもとにして、市政を科学的に運営するならば、大館の将来は期して待つべきものがある。

× ×

# 編入町村の紹介

三月一日から既に、長木、上川沿、下川沿、二井田、真中の五村が編入され、三月三十一日には十二所町が合併になりました。十四ヶ町村の大同団結という大きな構想の第一段階として、一市一町五村の合併がめでたくまとまつたことはうれしいことであります。そこで各編入町村のあらましをさぐつてみましよう

## 杉の緑りに満ちて

面積四十%の旧長木村

〃長木〃と云つたら、誰れしも長木沢の欝蒼とした、杉の大森林を思い浮べることでしよう。今から三百六十余年前の天正十五年秋田城之介実季が豊臣秀吉に贈つたといわれる秋田杉も又二百二十余年前の寛永十六年に藩主が徳川幕府の江戸城普請用として献上したと記録されている杉板も皆こゝ長木沢より産したものであると云われています。本邦の三大美林の一として、〃長木沢国有林〃の名は広く世に知られています。有名な秋田蕗も一説には長木沢から発見されたといわれています。なにしろ新大館市の四十%を占める広大な土地、そして幽玄な山野の何処かには、或はその昔そんな事もあつたことでしよう。今から凡そ千十余年前にこの地域にあつた四ッ屋村が相馬氏の手によつて開拓されたと記録されているところを見て、相当古くから拓けた村と云えます。明治十六年に至つて上岱野外六ヶ村と雪沢地区にあつた戸長役場を合併し組合戸長役場としましたが明治二十二年町村制の実施とともに長木村と改称し今日に至りました。

面積＝一三一・四五平方粁、世帯数＝六四〇、人口＝四三五四人

## 『梨』の産地・上川沿

野菜は大館で消化

米代川右岸に沿つて細長く連なつているこの村は地味水利の便に恵まれているため、米穀は勿論、果樹、蔬菜の栽培が盛んに行われています。殊に中山に栽培する梨は「中山梨」と銘うつて、その品質は極めて高く評価されています。又蔬菜も電、醸熱による温床育苗が盛んで、その栽培技術の優秀さは遠近に知られているところから視察に来る人々が後を断ちません。生産物の多くは大館市で消化されていますが、遠くは鹿角弘前方面にまで販路を持つています。

この村は、古くは奥羽藤原氏三代隆盛の頃、同氏の被官河田氏が贄の柵に拠つて統治した頃から、次第に開拓部落を形成した模様です。藤原氏衰退の後、鎌倉、室町、織豊の時代を通じて、支配関係に多くの変遷がありました。支配者として就中有名な人に浅利氏、秋田氏があります。慶長七年佐竹氏が遷封され久保田城主になるに及んで、この地方は佐竹氏に任ぜられた大館城代の支配下にあつた訳けです。

明治維新による廃藩置県の後、明治二十二年の町村制実施によつて扇田村戸長役場組合であつた中山、山館餌釣と片山村外四ヶ村戸長役場組合に属していた小館花、根下戸と池内の六ヶ村を合併し上川沿村と改称して今日に至つています。

面積＝二八・一三平方粁
世帯数＝四四三、人口＝三、〇〇二人

## 千二百年前から開拓

『下川沿』由緒ある八坂神社

長木川、下内川は此所で米代川に合流し能代を経て日本海へと流れています。北秋田郡では最も古いのがこの村です。奈良朝、和銅七年（千二百年前）の頃既にこの村の片山地域が開拓され八坂神社が創建されたと記録されているようです八坂神社と云えば片山にはこんな云い伝えがあります。

神代の昔、素佐男命が故あつて国を追われ夜見の国、御頭山からキウリに乗つて出発し、こゝ片山に漂着して一命をとりとめたと云うことから、命（みこと）を祀る片山の人々は、大恩あるキウリを喰つては神罰があたると云うので忌み嫌い今でも食べない人があるとのことです。

慶長七年に佐竹氏が水戸から秋田へ遷封されるや、その支配に属する大館城代の支配下におかれています。明治二十二年町村制の施行によつてこの地域にあつた二つの戸長役場を統一し、下川沿村と改称して今日に至つています。

面積＝一四・二七平方粁
世帯数＝五九〇、人口＝三、五三五人

## 贄の柵にまつわる歴史

二井田は米の宝庫

贄の柵は藤原泰衡が家臣川田次良行文を置いて守らせた所であり、又泰衡が次郎行文に殺された所でもあります。

この出来事は今から凡そ七百六十余年前のこと泰衡が義経の首を鎌倉へ献じたわけですが、頼朝は義経を庇護したというかどで泰衡追討の兵を起し、本拠である平泉に迫つたので泰衡は事の叶わぬを悟り、三代の栄華を極めた居城を焼き捨て、川田の[illegible]に逃れました川[illegible]賞目[illegible]如に討たれたのでした。一説には泰衡は川田の変心を悟り、ことの叶わぬを知つて、三十五才を一期として自害したとも言われています。兎に角歴史に有名な贄の柵はこゝ二井田にあるわけです。

藤原氏衰退後、浅利氏も独鈷の城に拠つてこの地内二井田、本宮、比内前田、大子内、下川原などにそれぞれ部将を置いて支配した模様です。

江戸時代に入り佐竹氏遷封の後、二百六十余年間はその支配下で比較的平穏な時代を経過し、明治の廃藩置県、明治二十二年町村制の施行により二井田、比内、前田、大子内、下川原の五ヶ村が統一されました。

面積＝二六・七一平方粁、世帯数＝五一七[illegible]人口＝三、五九六人

## 真中は大館盆地の西端

静かな農村地帯

北秋田郡の略中央にあるところから、真中と呼ばれるに至つたと云われています北は上川沿、東南は二井田西は早口、旧栄村に隣接し海抜四十二米、大館盆地の西端で、北に米代川、西に引欠川を帯び、出羽丘陵の一脈北から[illegible]走つて静か[illegible]氏隆盛の頃は、その支配下にあつたと云われています。明治十六年真中村（赤石、櫃崎、大被、小袴、出川を含む）板沢村組合役場を設置しましたが、明治二十二年の町村制実施とともに両村を統一して真中村と改称しました

面積＝一四・二八、世帯[illegible]三、[illegible]口＝二[illegible]

## 大館と前後衛の十二所

千百年前から大滝温泉

温泉の発見にはこんな云い伝えがあります。一羽の病鶴が舞い下りて数日入浴しました。湯の効き目で快癒した鶴はうれしそうに何処かへ飛び去りました。これが端緒になり、これに因んで鶴の湯があるのだと——しかし大同二年、焼山が噴火して大滝温泉が湧出したと記録されていますから、それ以来一千百年余の歴史を持つていると云えましよう。秋田犬しろと猟師左多六につながる老犬神社の云い伝えなども、県内広く知られているところです。今から凡そ八百数十年前、藤原泰衡が亡び南部氏が起つや、この附近は南部と秋田の激戦地でありました。慶長七年佐竹氏が秋田藩に遷封されてから南部に対する抑えとしてその臣である茂木氏が累代この地に居城したと云われています。明治五年の大小区制改正の頃は現在の上川沿村中山、東館村独鈷は十二所に所属していました。明治二十二年町村制の実施によつて十二所、道目木、猿間、葛原の六町村を合併、十二所町として発足しました。

面積＝六八・二五平方粁
世帯数＝一、〇〇五、人口＝五、九二七人

市民の楽しき集い

田中橋（真中）

米の宝庫（二井田）

繁華街の大町

大滝への道